

Science Talk Live 2013

第3回 世界トップレベル研究拠点(WPI)合同シンポジウム in 仙台

by WPI

*Kenichiro
Itami*

伊丹 健一郎 教授
名古屋大学トランスフォーメティブ
生命分子研究所 拠点長

『新物質イタミンを夢見て』



*Alan
Lindsay
Greer*

アラン リンゼイ グリア 教授
東北大学原子分子材料科学高等研究機構 主任研究者
ケンブリッジ大学材料科学冶金学科長

『自然が魅せる材料開発の未来』
Making Materials: Inspirations from the living world



*Masashi
Yanagisawa*

柳沢 正史 教授
筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
機構長

『睡眠・覚醒の謎に挑む』



*Kei
Hirose*

廣瀬 敬 教授
東京工業大学地球生命研究所 所長

『地球の起源と生命の誕生』



*Akari
Takayama*

高山 あかり 博士
東北大学原子分子材料科学高等研究機構
JSPS特別研究員

『五感で感じる電子の世界』



「見る力」を、「観る力」に。

— 世界を変える科学者の目 —

2013 12/14 SAT

場所

仙台国際センター

12:00開場 13:00開演

入場無料 / 申込方法

オンラインフォームより登録してください。

<http://wpi2013.org/>

主催

東北大学 原子分子材料科学高等研究機構 (AIMR)

後援

文部科学省 / 日本学術振興会 / 宮城県教育委員会 /
仙台市教育委員会 / 青森県教育委員会 / 秋田県教育委員会 /
岩手県教育委員会 / 山形県教育委員会 / 福島県教育委員会

共催

東京大学国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU) / 京都大学 物質・細胞統合システム拠点 (iCeMS) /
大阪大学 免疫学フロンティア研究センター (IFReC) / 物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点 (MANA) /
九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (ICNER) / 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (IIS) /
東京工業大学 地球生命研究所 (ELSI) / 名古屋大学 トランスフォーメティブ生命分子研究所 (ITbM)

SPECIAL
PLAN

高校生による英語での研究
プレゼンテーション

参加校

- 仙台第一高等学校 ○仙台第三高等学校
- 古川黎明高等学校
- エレノア・ルーズベルト高校 (米国メリーランド州)

Science Talk Live 2013_{by}WPI

第3回 世界トップレベル研究拠点合同シンポジウム in 仙台

全国に9つあるWPI拠点より世界トップクラスの研究者が集結し、研究にかける想いや苦勞話、発見の喜びなどを直接語りかけるこのイベント。年1回の割合で開催され、2011年に福岡、2012年につくば、そして2013年は東北大学AIMRの主催で仙台にて開催されます。科学の面白さや楽しさを肌で感じられるこの機会をぜひお見逃しなく！

PROFILE



アラン リンゼイ グリア 教授

Alan Lindsay Greer

東北大学原子分子材料科学高等研究機構 主任研究者
ケンブリッジ大学 材料科学冶金学部長

1955年イギリス生まれ。ケンブリッジ大学卒業後、ハーバード大学での研究員などを経て現職。金属材料の微細構造形成に関する研究の世界的権威として知られ、これまでに発表した論文は350を超える。



廣瀬 敬 教授

Kei Hirose

東京工業大学地球生命研究所
所長

1968年福島県生まれ。日本学士院賞受賞、日本が世界に誇る地球科学者。マントル最下層(ポストペロプスカイト)の発見は「地球科学史における30年ぶりの大発見」として全世界から絶賛、米科学誌「サイエンス」の表紙を飾る。



伊丹 健一郎 教授

Kenichiro Itami

名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所
拠点長

1971年アメリカ生まれ。合成化学(分子をつなげる技)を専門とし、新しいナノカーボン材料、生命機能分子、医薬品の開発を目指す。過去5年間でテレビ・ラジオ・新聞・雑誌に90回以上も取り上げられている。



柳沢 正史 教授

Masashi Yanagisawa

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
機構長

1960年東京生まれ。筑波大学大学院博士課程修了。米国科学アカデミー正会員。大学院時代に血管制御因子エンドセリンを、98年に睡眠覚醒を制御する脳物質オレキシンを発見。睡眠の謎を解明すべく世界を舞台に奮闘中。



高山 あかり 博士

Akari Takayama

東北大学原子分子材料科学高等研究機構
JSPS特別研究員

1985年福島県生まれ。博士課程在籍時より、世界最高分解能のスピンドル分光電子分光装置の開発に携わり、界面ラッシュバ効果の観測等の功績により日本学術振興会育志賞、東北大学総長賞を受賞。2013年3月に博士号取得。

ブースセッション

世界トップレベル研究拠点プログラム(World Premier International Research Center Initiative: WPI)は、第一線の研究者が是非そこで研究したいと世界から集まってくるような、優れた研究環境ときわめて高い研究水準を誇る「目に見える研究拠点」の形成を目指し、平成19年に文部科学省が開始したプログラムです。このブースセッションでは、全国に9つあるWPI拠点が全て集結し、原子・分子から生命、地球、エネルギー、宇宙まで幅広い分野での最先端の研究をご紹介します。

PROGRAM

12:00 - 13:00	受付開始(ブースセッション) 開会までの間、WPI各拠点のブース展示をお楽しみください。
13:00 - 13:05	趣旨説明(小谷元子 東北大学AIMR機構長)
13:05 - 13:10	開会の挨拶(里見進 東北大学総長)
13:10 - 15:00	5名の研究者による講演(途中休憩をはさむ)
15:00 - 15:30	ブースセッション コアタイム
15:30 - 16:40	高校生による英語プレゼンテーション (宮城県より3校、米国より1校がそれぞれの研究成果を発表)
16:40 - 17:00	研究者による講評
17:00 - 18:00	ブースセッション コアタイム

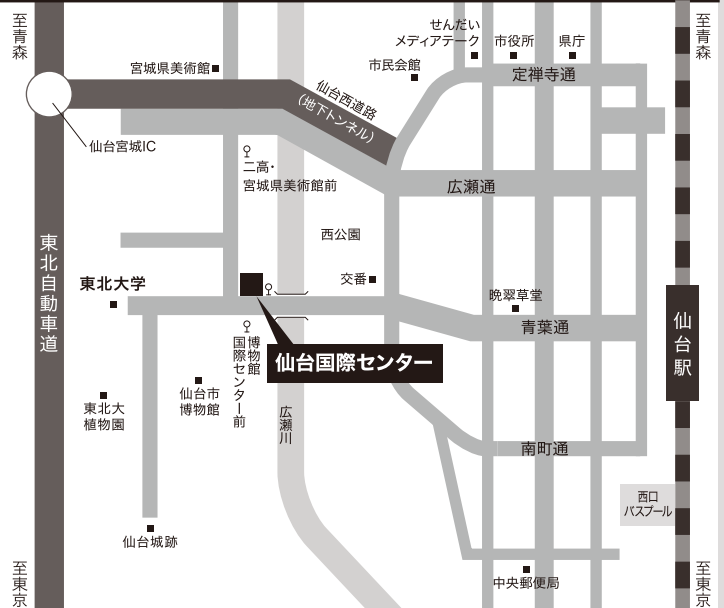
【お問い合わせ】

東北大学原子分子材料科学高等研究機構 広報・アウトリーチオフィス
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

TEL) 022-217-6146 MAIL) outreach@wpi-airm.tohoku.ac.jp

WEB) http://wpi2013.org/

ACCESS MAP



■ 仙台駅よりタクシーにて 仙台駅1階西口よりタクシーに乗り、約7分。

■ 仙台駅よりバスにて
仙台駅 西口バスプール「9」番より、「博物館・国際センター前」で下車。
(乗車時間10分、料金180円)。徒歩1分。